

2022年5月24日

報道機関 各位

長崎大学 ウクライナ避難民学生・研究者受け入れ
最初の受け入れ研究者が5月26日（木）に長崎に到着予定

長崎大学（長崎市 学長 河野 茂）は、ロシアのウクライナ侵攻により、学びを中断せざるを得なくなったウクライナ避難民学生や研究者に学びを継続する場を提供すること目的として、3月18日、40名程度の受入れを発表いたしました。以後、準備を進めて参りましたが、最初のおひとりが、5月26日（木）14：25長崎空港着の航空便で来崎の見込み（※）となりましたので、お知らせいたします。

（※前日25日のPCR検査で陰性が確認された場合）

今回来崎する方は、Prasol Yevheniia（プラソル エブゲニア）氏（36歳 女性）です。プラソル氏は、2016年までドニプロ国立大学で日本文学を専門として講師を務めておられた研究者です。2016年4月から2018年3月まで研究生として長崎大学大学院 多文化社会学研究科で学び、さらに翌年4月から2年間は同研究科で修士課程を修了された経歴をお持ちです。その後はウクライナで日本語・英語教師および翻訳家をされておられました。

今後、長崎大学の人文社会科学域（多文化社会学部）にコーチングフェローとして在籍し、多文化社会学研究科で研究に携わると共に人文社会科学域における教育等のサポート、さらに今後來崎が予定されているウクライナ避難民学生のサポートにも携わっていただく予定です。

なお、混乱を避けるため長崎空港での取材対応は行いません。同26日17時より長崎大学事務棟2階、第3会議室において、河野茂学長とともに取材対応をいたします。なお、プラソル氏ご本人の心身の疲労も大きいため、冒頭、ご本人のコメントを公表し、その後簡単なご質問をお受けした後、15分程度で退席させていただきます。予めご了承ください。なお、今後の受け入れの見通しなどについては、プラソル氏の退席後に質問にお答えします。全体で30分程度の会見を予定しております。

記

日 時：2022年5月26日（木）17：00－17：30

冒頭15分程度でプラソル氏は退席いたします

会 場：事務棟2階 第3会議室

参加者：Prasol Yevheniia プラソル エブゲニア氏

長崎大学学長 河野 茂

長崎大学理事（教学担当） 森口 勇

以上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学 広報戦略本部 TEL：095-819-2007 Mail：kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp